

2015 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会 議事録

日 時：2015 年 10 月 9 日（金） 10：30 ～ 12：00

場 所：広島 YMCA 専門学校 校長室

広島市中区八丁堀 7-11 広島 YMCA1 号館 1 階

出席者：

東洋観光株式会社	相談役	鵜飼 恵美
	在校生保護者	高畑 千暁
	卒業生	小林 成美
広島 YMCA 専門学校	校長	安森 讓
広島 YMCA 専門学校	事務長	殿納 隆義

欠席者：

ユースサービス株式会社	代表取締役社長	羽原 泰二
-------------	---------	-------

議事内容：

議長の鵜飼様から開会のご挨拶をいただいた後、下記内容について討議を行った。

1. 職業実践専門課程認可後の状況報告と今後の課題

2015 年 2 月末現在での全国の職業実践専門課程認可校数および認可学科の表をご覧ください、全国にある専門学校数から考えるとまだまだ少ない状況であることを確認した。また、職業実践専門課程の認定を取る事により、これまで以上に学校の情報開示が必要となり、健全な学校運営を図っていく意味でもこの学校関係者評価委員会の役割が重要であることを確認し、以下の説明が安森校長よりなされた。

全国にある専門学校数は 2823 校、在籍者数は約 59 万人いる。毎年 27 万人前後が入学している状況。全国の 4 年制大学数は 779 校、在籍者数は約 290 万人、短期大学は 346 校、在籍者数は 13 万人程度であり、日本の高等教育機関の中で専門学校が大学に続く学生数を抱える大きな教育機関である事が分かる。来年、学校教育法の改定が行われる可能性が高く、その中で現在討議されている職業専門校が第 1 条に位置づけられるのではないかとと思われる。この職業専門校は、専門学校だけでなく大学や短大も移行できる新しい学校種であり、2019 年にスタートすることになっている。2017 年には様々な設置要件が明確になるのではないかと推測される。また、職業専門校では学士号を与えるという話も出てきている。今後様々な課題が出てくることが考えられる。本校としても教育の質の向上、教員の質の向上、学科・コースの特色化を急がなければならない。

職業専門校の登場に伴い、高等学校の進路指導も様変わりすることが予想される。大学入試センター試験も新テストに全面改定になる。これにより学びの変革(アクティブラーニング)を導入しようと高校現場は試行錯誤している。本学園においても第 2 期中期 3 カ年計画が来年度からスタートする。職業専門校を念頭に置いて中期 3 カ年計画を進める予定。

2. 学校行事から受けた印象について

委員の方々に 10 月初旬に行われた学園祭の印象を伺った。

- ・ YMCAはとても国際色が豊かであり、年齢層に幅がある。他校ではまず見られない光景であった。食べ物に関しても留学生のお国自慢料理のコーナーは、本場の味を楽しむことが出来て良かった。
- ・ 敷地を上手に工夫して、たくさんの店舗が出されていて、学生たちは本当に楽しそうに過ごしていた。自分も一緒に楽しめた。卒業生もたくさん来校してくれて、現状を知る事が出来た。
- ・ 同年代の学生だけで盛り上がる学園祭ではなく、小さな子供さんから年配の方、様々な国籍の方も一緒に楽しめるイベントであった。学生にとっても様々な対象者に対してのコミュニケーション能力が磨かれる場となって良かったと思う。
- ・ 全員が役割を持って参加していたと思うが、消極的な学生も散見した。
- ・ 地域の方々をもっと巻き込むために、広報をもっと強化しても良いのではないかな。

3. 2014 年度自己点検評価に対する学校関係者の確認

事前にお届けしていた 2014 年度の自己点検評価表について委員の方々からご意見を頂戴した。

①教育理念・目標について

- ・ 前回の学校関係者評価会議において、「理念、目標、育成人材像、特色、教育理念などが生徒保護者等に周知されているか」の項目が③の表記であったが、十分出来ていると評価できるので④に変更したことを確認した。

②学校運営

- ・ 「運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか」に関しては、今回③から④になっている。また、「教育活動に関する情報公開が適切になされているか」に関しては、今回の職業実践専門課程の申請を行うにあたり、昨年 10 月までに WEB 上に必要情報を公開し、現況が分かるようになったため④の評価とした。

③教育活動

- ・ 「職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか」に関しては、職業実践専門課程の申請を行うにあたり、各科において有識者・業界関係者の方々のご協力をいただき、教育課程編成委員会を組織し、カリキュラムや実習において忌憚のないご意見、アドバイスをいただける環境となった事が評価され、③から④に変更した。
- ・ 「職員の能力開発のための研修等が行われているか」に関しては、各科の専門スキル・指導力向上のための研修参加のみならず、学生一人ひとりに対する指導力、傾聴力を上げるための研修を行っている事もあり、③から④に移行した。
- ・ 指導力研修に関しては、これまで個人の力量に頼る事が多く、また、感覚で対応してきたことが、科学的な根拠を持っている事に気付かされた。また、ケーススタディは非常に役に立っているという意見が出された。しかし、非常勤講師に対する指導力研修は手つかずの状態であり、課題となっている。教員の授業観察が十分出来ていない事も課題である。
- ・ 外の研修に教員を参加させることも必要ではないかな。

④学修成果

- ・ 2015 年 3 月卒業者の就職内定状況を各科毎に報告した。就職希望者の内定率、専門士を活かせる職業への内定状況も良好であり、今後も継続してしっかり指導していくことをお伝えした。

⑤学生支援

- ・ キャリアセンターの機能が充実してきており、内定率の UP に繋がっている。また、学生の生活相談窓口としても機能してきており評価できる。
- ・ 辞めたいと言ってくる学生の理由・原因として、最近特に多くなっているのは、他者とのコミュニケーションが取れない学生や心の病を持って入学した学生が退学するケース。担任がご家庭とともにいろいろと対応を試みるが、最終的に退学となるケースが目立つ。経済的理由で退学に至るケースは殆どない。それ以外には、在学中に結婚・出産というケースもあった。
- ・ 高校では専門学校は専門教育を教える場であるので、途中目標を失ったり興味が無くなってしまった場合、辞めることになるという指導を受けたが実際はどうなのかと言った質問があった。確かに専門教育を行う場所であるのでそういった面は否定できないが、社会で必要となる学びも多く取り入れているし、分野が異なる就職希望に対しても対応できるよう日常的に指導しているので、大学等への進路変更を考える場合は除き、興味が無くなったから辞めるというケースは殆ど無いのが現状。

⑥教育環境～⑨法令順守

- ・ 特に自己点検評価に異論はない。懸案事項であったトイレの改修工事に取り掛かった事は評価できる。

⑩社会貢献・地域貢献

- ・ YMCAならではの特長として、自然災害時の被災地支援や紛争地域での難民救済など、いち早く取り組み、学生たちも一緒に活動を始め姿勢はとても評価できる。昨年の広島市北部の豪雨災害、今年の北関東豪雨災害においても、即座に街頭募金活動を行い、被災地域への復興支援を行うなど、他校では真似のできない活動である。
- ・ 校内での留学生との関わりは当然として、地域社会に対する留学生の関わりも頻繁に行われており、国際理解に繋がっている。

自己点検評価に対していただいたご意見を基に学校関係者評価委員会の評価コメントをまとめ、WEB に公開することとした。

4. 2015 年度のこれからの学事日程の確認

10 月から来年 3 月末までの学校行事を説明し、委員の方々にご出席いただきたい行事を確認した。また、次回の学校関係者評価委員会において授業参観を計画することについても確認した。

4. 質疑応答

特になし。

記 録 殿納隆義

議事録署名人 安 森 讓 印

小 林 成 美 印

2014年度 学校関係者評価シート

(1)教育理念・目標		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野における職業教育の特色は何か)		④	3	2	1	広島YMCA専門学校中期計画(2012～2014)に沿って学校経営が十分なされていることが伺える。
学校における職業教育の特色は何か		④	3	2	1	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		④	3	2	1	
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか		④	3	2	1	
各学科の教育目標,育成人材像は,学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		④	3	2	1	

(2)学校運営		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	学校運営が順調に進んでいることが伺える。今回の職業実践専門課程の申請を行うにあたり、WEB上に必要情報を公開し、現況が分かるようになったことは評価できる。	
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1		
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1		
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1		
教務、財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1		
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1		
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1		
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1		

(3)教育活動	自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	職業実践専門課程となり、各科において有識者・業界関係者の方々による教育課程編成委員会を組織し、カリキュラムや実習において忌憚のないご意見、アドバイスをいただける環境となった。また、各科の専門スキル・指導力向上のための研修参加のみならず、学生一人ひとりに対する指導力、傾聴力を上げるための研修を行っていることは評価できる。
教育理念,育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④	3	2	1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	④	3	2	1	
関連分野の企業関係施設等,業界団体等の連携によりカリキュラムの作成見直し等が行われているか	4	③	2	1	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ,実技実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	
授業評価の実施評価体制はあるか	④	3	2	1	
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	
資格取得の指導体制,カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	
関連分野における業界との連携において優れた教員(本務兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1	
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1	

(4) 学修成果	自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	卒業生の評価による学校指定求人が毎年多く届いており、高い内定率を維持できている。就職希望者全員が内定を取れるよう、一丸となって取り組んでほしい。
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1	
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1	

(5) 学生支援	自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
進路就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	・ キャリアセンターの機能が充実してきており、内定率のUPに繋がっている。また、学生の生活相談窓口としても機能しており評価できる。スクールカウンセラーによるカウンセリングが実施されており、他者とのコミュニケーションが取れない学生や心の病を持って入学した学生が退学する歯止めになっていることも評価できる。
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	
卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	
高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1	

(6)教育環境		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1					
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	専門教育を行う施設、設備的には整っている。特に懸案事項であったトイレの改修工事に取り掛かった事は評価できる。	
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1		
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1		

(7) 学生の受け入れ募集		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
学生募集活動は,適正に行われているか		④	3	2	1	過大な費用を掛けず適正な広報活動が行われていることが伺える。昨今の経済状況に合わせ、今後も可能な限り学費を低廉に抑え、また、生徒に対しての奨学金制度等をさらに充実してほしい。
学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか		④	3	2	1	
学納金は妥当なものとなっているか		④	3	2	1	

(8) 財務		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1					
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1	学校法人として財務情報が公開されている。	
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1		
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1		
財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1		

(9) 法令遵守		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1					
法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	法令,専修学校設置基準等が守られ、個人情報保護に関しても対策が取られている。長年に渡って実施されてきた自己点検評価を公開し、外部評価を受けるため学校関係者評価委員会を立ち上げたことも評価できる。	
個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1		
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1		
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1		

(10) 社会貢献・地域貢献		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか		4	③	2	1	YMCAならではの特長として、自然災害時の被災地支援や紛争地域での難民救済など、いち早く取り組み、学生たちも一緒に活動を始める姿勢はとても評価できる。昨年の広島市北部の豪雨災害、今年の北関東豪雨災害においても、即座に街頭募金活動を行い、被災地域への復興支援を行うなど、他校では真似のできない活動である。
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか		④	3	2	1	
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか		④	3	2	1	

(11) 国際交流(必要に応じて)		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
留学生の受入れ派遣について戦略を持って国際交流を行っているか		④	3	2	1	広島YMCAの国際交流プログラムに積極的にに関わり、学内の留学生との交流プログラムも頻繁に行われている。地域社会に対する留学生の関わりも頻繁に行われており、国際理解に繋がっている。内向きの若者が増えている中、今後も積極的に国際人を育てる取り組みを期待している。
受入れ派遣,在席管理等において適切な手続き等がとられているか		④	3	2	1	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか		④	3	2	1	
学内で適切な体制が整備されているか		④	3	2	1	